

進路だより号外

2017～2018 第1号

発行
栃木県立盲学校
進路指導部

★テーマ『平成28年度のふりかえりと、平成29年度の取組 ～進路指導部～』

保護者のみなさんこんにちは。平成29年度がスタートしました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、「進路だより号外」年度初めの第1号は例年どおり、昨年度の反省及び今年度の目標について書きます。御一読いただければ幸いです。

平成28年度学校評価（進路指導について）の考察

質問①「卒業後の生活を考え、必要な事柄を具体的に指導しているか」

A評価・・・14名／39名（昨年度比8%減）

C評価・・・3名／39名（昨年度比3%減）

この項目は、年々A評価の比率が下がっています。毎年申し上げていますが、この質問は進路指導というよりも学校生活全体に関わるものだと思います。「卒業後の生活で必要な事柄」というのは具体的に何でしょうか。おそらくそれは単一のものではなく、複雑に絡み合った総合的な力と表されるものかもしれず、学校でしか伸ばせない力や家庭でこそ伸びる力といったものがあるのかもしれませんが。協働する部分、分担する部分を改めて見直すなど、子どもたちの社会自立に向けてより一層学校と家庭が連携を図る必要性を感じます。

質問②「役立つ情報を提供しているか」

A評価・・・17／39（昨年度比2%増）

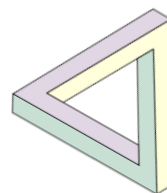
C評価・・・2／39（昨年度比3%増）

どちらの数字も微増しました。必要な情報は、当然のことですが各個人によって大きく異なります。何度もお伝えしていることですが、「進路だより」で取り上げてほしい内容がありましたら、ぜひ担任か進路指導部までお知らせください。できるだけ対応させていただきたいと思っています。また、こちらでも繰り返しですが、昨年度より「進路相談室」が開設され、4月もすでに相談を実施しています。少しでも気になることがあれば進路担当が相談に応じますので、ぜひお声かけください。

質問③「関係機関と連携がとれているか」

A評価・・・16／39（昨年度比1%減）

C評価・・・1／39（昨年度比増減なし）



進路指導における「関係機関」とは、おおむね以下のとおりです。

- ・市町の福祉窓口（サービス申請等）
- ・相談支援事業所（計画相談等利用の設計等）
- ・障害者就業・生活支援センター（職場定着支援等）
- ・障害者職業センター（就業に関するトレーニングやガイダンス、ジョブコーチ支援等）
- ・ハローワークや商工会議所等の就労支援機関
- ・各企業、各福祉施設

昨年度は、関係機関の方に学校見学や中学部・高等部の進路学習会講師として、延べ 25 名ほどお越しいただきました。また、関係機関を参集しての「夏季進路相談会」について、小学部生まで対象を広げて実施してから昨年度で 3 年目となりました。

盲学校のことを外部機関に知っていただくには、直接学校へ来ていただくのが最も効果的であることを、昨年度訪問された方からの言葉で実感しました。今年度も学校に来ていただける関係者の人数を増やせるように取り組みます。

★平成 29 年度進路指導部重点目標★

- ・進路情報提供
 - ・関係機関との連携（外部講師による授業を企画したり、関係機関の来校機会を設け児童生徒の生の姿を見ていただいたりする）
 - ・日常の学習における作法指導（挨拶・返事・お辞儀・身だしなみ）
 - ・積極的な事業所訪問
-

◎平成 28 年度卒業生進路状況

高等部普通科卒業生

- K・A さん…本校高等部専攻科理療科進学
- T・T さん…筑波大学附属視覚特別支援学校高等部専攻科音楽科進学
- Y・W さん…『とちぎライトセンター』及び『ゆーあい工房』通所（就労継続支援 B 型）

中学部卒業生（転出者）

- I・Y さん…筑波大学附属視覚特別支援学校高等部普通科進学

《最後に》

学校評価項目に「役立つ情報」という言葉があります。さて、個々人にとって「役立つ情報」とは何でしょうか。週末にゴルフの予定がある者にとってのそれはおそらく「降水確率」であり、おいしいラーメンを追求する者にとってのそれは「店の口コミ」といったものでしょう。ただ、それらは待っていれば空から降ってくるものではなく、原則自分から取りにいかねば得られない情報ですし、ラーメン好きでない者には、いらない情報です。

進路に関する情報も同様で、役に立つかどうかはまさに人それぞれです。できるだけ広範囲にわたる情報提供を心がけて「進路だより」を作成していくよう努めていますが、ぜひ保護者の皆様も積極的に学校の資源（進路指導部）を活用してください。質問や意見がありましたら、どんどん声を挙げてくださいますよう、重ねてお願いいたします。